

サンエイ (高松)

普通紙2枚を貼り合わせたシールタイプの送り状「パーソナルフォーム」は、大手通販などで採用されている。製造機械も国内で初めて導入し、高い技術と品質でシェアを拡大している。レーザープリンターや高速プリンターとの相性もよく、ニーズは年々増加。直近では全国の自治体のコロナワクチン接種券(シールタイプ)を製造している。



工場環境整備や技術向上に日々取り組んでおり、両面に画像や加工ナンバーを読み取る検査装置を設置するほか、

特殊印刷でニーズ対応

宅配便の送り状といった複写伝票などの特殊印刷を手掛ける。独自の技術を生かして物流のほか、メーカーや金融、官公庁、医療機関など幅広い業種のニーズに対応し、実績を積み重ねている。

工場の環境整備や技術向上に日々取り組んでおり、両面に画像や加工ナンバーを読み取る検査装置を設置するほか、

また、太陽光発電事業にも参入し、環境エネルギーにも配慮。高松市の自社工場のほか、新たに岡山県内で太陽光発電設備の整備を進めており、計約2ガワの発電量に上る。

DATA

- ▽本社 高松市郷東町
- ▽設立 1959年6月
- ▽資本金 4000万円
- ▽従業員数 62人
- ▽売上高 15億円(2021年12月期)
- ▽経常利益
- ▽社長 香川真志

ヒト・モノ・ワザ

香川の
500社Ⅲ

農業用プラ再資源

大倉工業 使用済み、フィルム



大倉工業が使用済みプラスチック用し、開発した農業用マルチ

大倉工業は、主に燃料と一用済みプラスチック製品を焼却処分されていた使用済みプラスチック製品を

などのために土の上に敷くフィルムで、従来品と同程度の機能を有する。マルチフィルムなどの農業用プラスチック製品は使用後に廃棄したり、発電用に焼却しており、処理費用が農業生産者の負担になっている。同社は、その負担の軽減や資源の有効活用を目的に、農業分野の自社製品で初めて資源リサイクル

Wide WIDE KAGA

を実現させた。新開発のマルチフィルム「エコカルマルチ」は、状態の良い廃プラスチックを基にして双日プラネットを

伸びなどの強度も現行品とほぼ同じという。昨年11月には大規模農場や農協などを対象に販売を始め、サツマイモ栽培が盛んな九州地区での利用が伸びている。今後は同社製品のシェアが比較的低い関東方面での販売強化を図るほか、他の農業用製品でも再資源化リサイクルの推進を検討していく。

JR四国 キャラあしら

ラクターに、非鉄道に、スタンプ作画を担当「おながい道用語」ウ印で運休をスタンプも「おながい道用語」1セットをショップ